

徳田球一 トクダキウイチ 社會運動家。明治二十七年九月十二日沖繩縣名護生
れ、昭和二十八年十月十四日歿（八廿一―一九五三）。日本天學法科夜間部
卒。辯護士となり、堺利彦等の日本社會主義同盟に加はる。大正十一
年モスクワの極東民族會議に出席、歸國後日本共産黨創設に参劃。昭
和二年モスクワでの二七年テーゼ作成に参加、翌年（二・一五事件）黨
員一齊檢舉（一）で逮捕。非轉向を責め終戦まで獄中生活。戦後黨書記長
となり、二十一年衆議院議員、二十五年八公職追放後地下活動。北京で
客死。ペキン

著書に『天皇制の打倒―人民共和政府の樹立』（昭和二十一年一月）
十日文苑社「自由叢書」）、『獄中十八年』（志賀義雄合著、昭和二十
二年二月十五日時事通信社。再刊・二十年九月十五日大月書店「大
月新書」）、『日本の産業と農業の将来』（昭和二十二年二月二十日
日本共産黨出版部）、『私の青春時代』（合著・九州評論社編集部編
昭和二十二年八月）二十日福岡・九州評論社）、『若い人々』（合著、
昭和二十二年十一月一日大阪・共同圖書株式会社）、『日本の建設と
破壊するものはどれか？』（昭和二十二年十一月十五日日本共産黨出
版部）、『共産黨は弾劾する！―徳田球一國會演説集・上巻』（昭和
二十二年十一月五日日本青年共産同盟
出版部）、『若い思い出・第一部』（昭
和二十四年七月十五日東京書院、眞理
社發賣）、『愛國の人々』（合
著、昭和二十四年八月）二十日ナウカ
社）、『若い思い出』（昭和二十五年八月）二十日東洋書館）等。東洋書

**日本の建設を
破壊するものは
どれか？**
徳田球一著

館編『回覧の徳田球一』(昭和二十一年十月一日)東京洋書館(刊)。